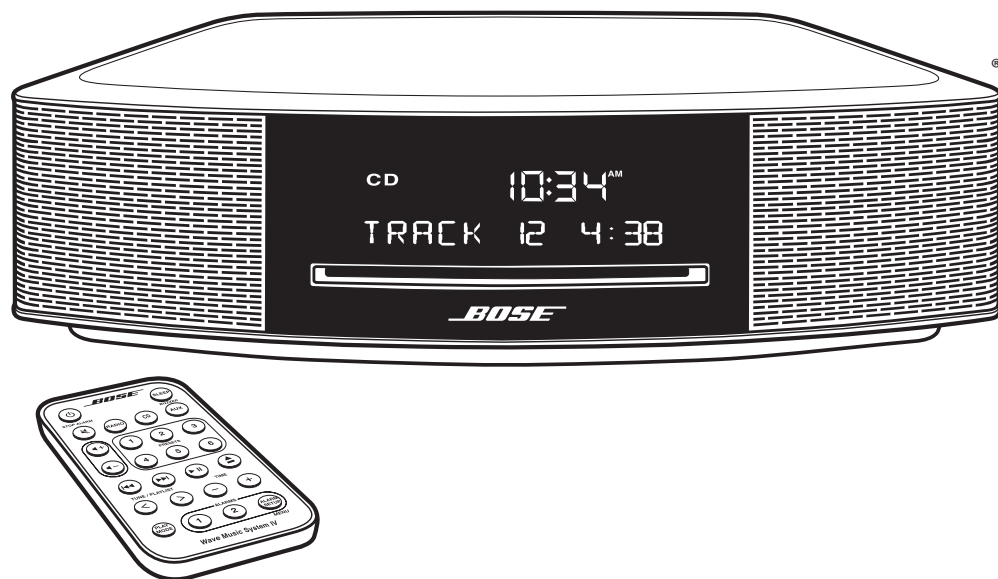


BOSE[®]

Wave[®] Music System IV



オーナーズガイド

安全上の留意項目

このオーナーズガイドに記載された内容をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。



正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このオーナーズガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることをお客様に注意喚起するものです。

警告:

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。



電池はお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込まないでください。化学薬品によるやけどを負う恐れがあります。この製品に付属のリモコンにはボタン電池が使用されています。ボタン電池を飲み込むと、体内で2時間以内に深刻なやけどを負って生命を脅かす恐れがあります。バッテリーカバーがきちんと閉まらない場合は、リモコンの使用をやめてお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体の中に入ってしまったと思ったら、すぐに医師の診断を受けてください。取り扱いを誤ると、破裂や火災、やけどなどの原因となることがあります。また、分解や充電、焼却を行ったり、100℃以上の熱を与えないようにしてください。3Vリチウムボタン電池の CR2032 または DL2032 に交換してください。使用済みの電池は速やかに処分してください。

- 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 極性プラグを使用する場合、感電を避けるため、電源コードをコンセントにつなぐ際には、プラグの幅が広い方の刃をコンセントの幅が広い方のスロットに差し込んでください。プラグは根元まで完全に差し込んでください。



警告: この製品には磁性材料が含まれています。埋め込み型医療機器の動作に影響があるかどうかについては、医師にご相談ください。



警告: のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

注意:

- システムまたはアクセサリを改造しないでください。許可なく製品を改造すると、安全性、法令の遵守、およびシステムパフォーマンスを損なう原因となる場合があります。
- 大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間にわたるヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。
- 本書で指定されている以外の方法で製品を操作したり、設定または調整を行うと、製品の内部から危険なレーザーが放出される恐れがあります。CDプレーヤーの調整または修理は、必ず資格を持つサービス担当者にお任せください。
- 本製品に付属の電池/バッテリーは、取り扱いを誤ったり、正しく交換しなかったり、誤ったタイプの電池/バッテリーと交換したりすると、火災や爆発、化学やけどなどの原因になる恐れがあります。

注記:

- 製品ラベルは本体底面にあります。
- この製品は、屋内専用機器です。屋外、RV車内、船上などで使用するようには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。
- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。



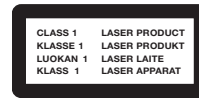
廃電池請回収



Li-ion

クラス1レーザー製品

このCDプレーヤーは、EN/IEC 60825に基づき、クラス1レーザー製品に分類されています。クラス1レーザー製品のラベルは本体底面にあります。



安全上重要な指示

- このガイドをよくお読みください。
- 必要なときにご覧になれるよう、本書を保管してください。
- すべての注意と警告に留意してください。
- すべての指示に従ってください。
- この製品を水の近くで使用しないでください。
- お手入れは乾いた布を使用し、ボーズ社の指示に従って行ってください。
- 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
- ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
- 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
- 必ずメーカーにより指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
-  メーカーが指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、または台のみをご使用ください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないように十分注意してください。
- 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
- 修理が必要な際には、カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, this is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than the one to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the condition that this device does not cause harmful interference.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

This device complies with FCC and Industry Canada RF radiation exposure limits set forth for general population. It must not be co-located or be operating in conjunction with any other antennas or transmitters.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 8 in. (20 cm) between this device and your body.

製品データ記録機能

このシステムには、ボーズ社が製品の使用状況とパフォーマンスを継続的に確認するために設計した、製品データ記録機能が搭載されています。製品データ記録機能では、音量レベル、電源オン/オフ、ユーザー設定、入力機器、電圧出力、セットアップデータ、およびその他の技術データや使用履歴が記録されます。これらのデータは、お使いのシステムに対してより良いサービスとサポートを提供するとともに、今後の製品設計を向上する目的で使用します。製品データ記録機能で保存されるデータを解読するには特殊な装置が必要であり、お客様がシステムのサービスをボーズ社に依頼するか、製品を返品された場合にのみ、ボーズ社でこれらのデータを回収することができます。製品データ記録装置では、お客様を特定できる個人情報や、システムを使用してお楽しみいただいたメディアの内容（タイトル、ジャンルなど）に関する情報は、一切記録されません。

カリフォルニア州: 過塩素酸塩素材を含むリチウムイオン電池が含まれています。特別な取り扱いが適用される場合があります。
www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorateを参照してください。

製品情報の控え

控えとして、Wave® Music System IVのシリアル番号を下の欄にご記入ください。シリアル番号とモデル番号は、製品の底面に記載されています。

シリアル番号: _____

モデル番号: _____

購入日: _____

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをおすすめします。

製造日: シリアル番号の太字で表記されている4桁の数字は製造日を示しています。1桁目の数字は製造年を表します。「5」は2005年または2015年です。2桁目から4桁目の数字は通し番号で月日を表します。「001」は1月1日、「365」は12月31日です。

中国における輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100

EUにおける輸入元: Bose GP, Castleblayney Road, Carrickmacross, Ireland

台湾における輸入元: Bose Taiwan Branch, Room 905, 9F, Worldwide House, 131 Min Sheng East Rd, Section 3, Taipei, Taiwan, 105

Wave music systemのデザインは、米国および他の国々で登録されたBose Corporationの登録商標です。

©2022 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

目次

はじめに

Wave® Music System IVについて	4
システムの特長.....	4
デモ用CD.....	4
永年の研究から生まれた高音質	4
内容物の確認.....	4

システムのセットアップ

システムを設置する.....	5
電源に接続する.....	5
現在時刻を設定する.....	5

システムの使用

リモコンについて.....	6
タッチセンサー	7
ディスプレイの表示.....	7
システムの電源をオン/オフする	7
音量を調節する.....	7
スリープタイマーを設定する	7

他のソースの再生

FM/AMラジオを聴く.....	8
FM/AMラジオの放送局を選ぶ.....	8
FM/AMラジオ放送局をプリセットに登録する.....	8
FMラジオの受信状態を向上する	8
オーディオCDの再生.....	8
MP3 CDの再生.....	9
CD再生モード.....	9

アラームの設定と使用

アラームボタンとアラーム表示	10
Alarms ボタンの使い方	10
アラーム表示.....	10
アラームを設定する.....	10
アラームを使用する.....	10
アラームのオン/オフを切り替える.....	10
アラームのスヌーズを使う	10

外部機器の接続

システムの接続.....	11
AUX IN 端子を使用する	11
オーディオ機器をケーブルで接続する.....	11
外部アンテナを使用する.....	12

システムの設定

セットアップメニュー.....	13
システム設定を変更するには	13

お手入れについて

故障かな？と思ったら.....	14
リモコンの電池を交換する.....	15
お手入れについて	15
お問い合わせ先.....	15
保証	15
仕様	15

Wave® Music System IVについて

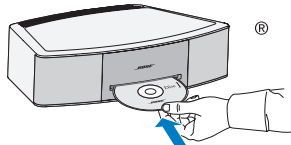
この度はWave® Music System IVをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は、どのお部屋でもお気軽に高音質の音楽をお楽しみいただけるシステムです。

システムの特長

- システム設定と情報を表示するディスプレイが搭載されています。
- AUX端子が搭載され、外部機器を接続して再生できます。
- 音楽をヘッドホンで楽しむためのヘッドホン端子を搭載しています。
- 高性能のFM/AMチューナーでラジオをお楽しみいただけます。
- お好きなCDでいつでも音楽を楽しめるよう、CDドライブを搭載しています。
- 付属のリモコンで、約6 m離れた場所からシステムを操作できます。

デモ用CD

まず、付属のデモ用CDをお聴きください。デモ用CDをWave® Music System IVの前面スロットに差し込むと、CDが自動的に再生されます。詳しくは、「オーディオCDの再生」(8ページ)をご覧ください。



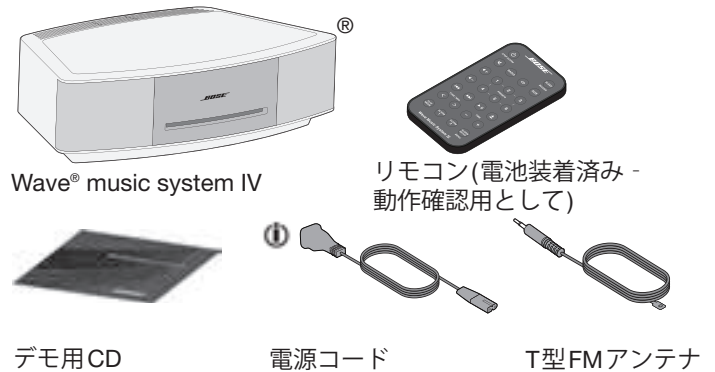
永年の研究から生まれた高音質

本機には、ボーズ社の14年以上にわたる研究成果が結実した独自技術、「ウェーブガイド・スピーカー・テクノロジー」が搭載されています。これは、本体に内蔵された共鳴管(ウェーブガイド)によって小型スピーカーの空気振動を大きな音響エネルギーに変換し、広がりのある重低音を再現する技術です。どんなインテリアにも調和するコンパクトなデザインを損なわないよう、ウェーブガイドは複雑に折りたたまれ、本体に収められています。Wave® Music System IVに内蔵されている2本のウェーブガイドの長さは合計132 cmにも及び、このサイズで大型スピーカーを凌ぐ重低音を再現します。



内容物の確認

箱の中身を取り出して、下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



① 電源コードは2つ以上付属する場合があります。日本用の電源コードをお使いください。

注記: 万一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでの使用はお止めください。

箱と梱包材は、輸送用として後日使用する場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。

システムのセットアップ

システムを設置する

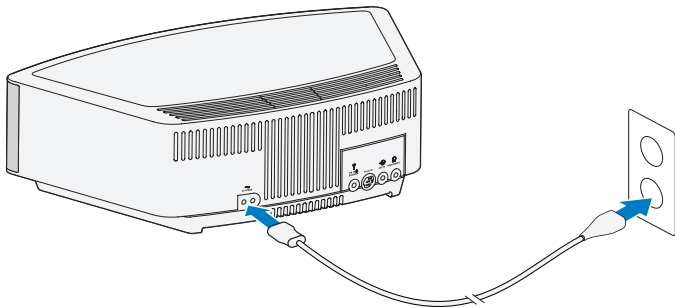
- より良い音響効果を得るには:
 - システムの正面で聴くほうが、より良い音響効果が得られます。
 - 壁からおおよそ60cm以内に近付けた場所に設置することをおすすめします。また、部屋の角に設置することは避けてください。
- システムは安定した水平な面に設置します。

注意:

- 金属面の上に設置しないでください。AMラジオの受信感度が低下することがあります。
- 他の電子機器と同様、内部から多少の熱を発生しますので、熱に弱い物の上や近くに設置しないでください。
- 湿気の多いところや水分のかかりやすいところには設置しないでください。

電源に接続する

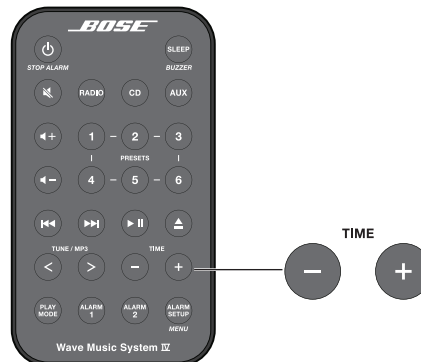
1. 電源コードの小さい方のプラグを、**AC POWER**端子に差し込みます。
2. 電源アダプターを壁のコンセントに差し込みます。



現在時刻を設定する

システムに電源を接続した後、リモコンで現在時刻を設定します。

1. **Time –**ボタンまたは**Time +**ボタンを1秒以上長押しします。
注記: ボタンを長押しする場合は1秒以上押し続けてください。



最初にディスプレイに「**HOLD TO SET**」と表示され、すぐに「**– CLOCK SET –**」に変わります。



2. **Time** ボタンを放します。
3. **Time –**ボタンを押すと時計が戻り、**Time +**ボタンを押すと時計が進みます。ボタンを操作して、現在時刻に合わせてください。ボタンを長押しすると時計が速く動きます。
4. ボタンを放して5秒経過すると、最後に表示された時刻に設定されます。

注記:

- 時刻を12時間表示(AM/PM)から24時間表示に変更するには、「システム設定を変更するには」(13ページ)をご覧ください。
- 停電や電源ケーブルの取り外しなどでシステムに電源が供給されなくなっても、システムの設定は保存されています。ただし、設定した時刻は48時間経過するとバックアップメモリーから消去されます。

リモコンについて

リモコンを使用して、システムを操作できます。リモコンをディスプレイに向け、ボタンを押してください。リモコンの到達距離は、およそ6 mです。



注記:

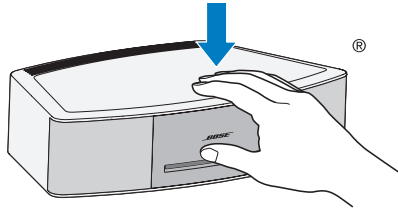
- ボタンを長押しする場合は1秒以上押し続けてください。
- **RADIO**、**CD**、または **AUX** ボタンを押すと、そのソースを選択した状態でシステムの電源がオンになります。

システムの使用

タッチセンサー

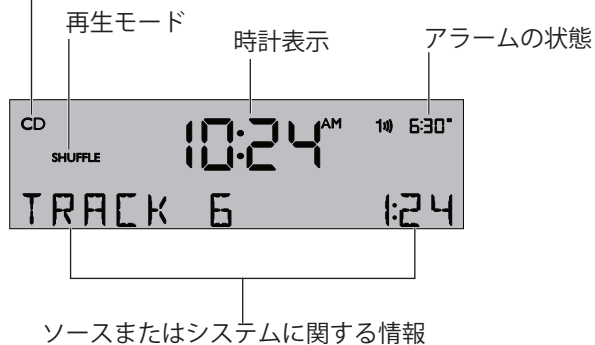
システムは、本体の上部にタッチセンサーを内蔵しています。

タッチセンサーに手を触れることにより、システムの電源のオン/オフ、アラーム音のスヌーズ、目覚ましのリセットなどの操作が行えます(10ページを参照)。



ディスプレイの表示

ソース表示: CD、FM、AM、AUX

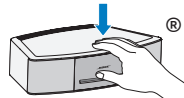


システムの電源をオン/オフする

- リモコンの  ボタンを押します。

または

- タッチセンサーに手を触れます。



最後に再生していたソースが有効になります。

その他の方法

ソースボタンを押すと、そのソースを選択した状態でシステムの電源がオンになります。



注記:

- AUX** ボタンを押しても、AUX INに接続されている外部機器(メディアプレーヤーなど)の電源はオンになりません。外部機器の電源を先にオンにしてください。
- ボタン操作を行わずに24時間が経過すると、システムはスタンバイ(オフ)となります。20分スタンバイタイマー(13ページ)がオンの場合、音が再生されずかつボタン操作が行われない期間が20分間続くと、システムはスタンバイとなります。

音量を調節する



音量を調節するには、**◀+** ボタンまたは **▶-** ボタンを長押しします。



「**VOLUME - 0**」(最小レベル)から「**99**」(最大レベル)までの音量がディスプレイに表示されます。



このボタンを押すとシステムの音声ミュートされます。

解除するにはボタンをもう一度押すか、**◀+** ボタンを押します。

ミュート中に **▶-** ボタンを押して、ミュートしたまま音量を下げておくこともできます。

注記: システムの電源がオフの場合でも、音量を10～75の間で調節しておくことができます。

スリープタイマーを設定する



SLEEP ボタンを押すと、設定した時間が経過した後にシステムがオフになります。

- SLEEP** ボタンを押して、ディスプレイに「**SLEEP - 30 MIN**」(または設定した時間)の表示が現れると、カウントダウンが始まります。システムが電源オフの状態では **SLEEP** ボタンを押すと、電源がオンになり、スリープタイマーがすぐに有効になります。タイマーのカウントダウンが始まると、最後に選択していたソースが再生されます。
- ディスプレイに「**SLEEP**」が表示されているときに **SLEEP** ボタンをもう一度押すと、スリープタイマーを10～90分の間(10分間隔)で変更したり、タイマーをオフにしたりできます。

注記: スリープタイマーの設定中に10秒間ボタン操作を行わないと、システムは自動的にスリープタイマーのセットアップモードを終了します。

- スリープタイマーの残り時間を確認するには、**SLEEP** ボタンを押します。
- スリープタイマーを解除するには、**SLEEP** ボタンを押して、ディスプレイに「**SLEEP - OFF**」と表示されたら放します。

FM/AM ラジオを聴く

RADIO

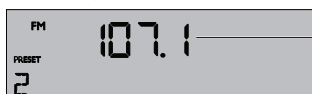
RADIO ボタンを押すとラジオの電源がオンになり、最後に選択されていた放送局を受信します。**RADIO** ボタンを押すたびに、FMとAMが切り替わります。

FMラジオを選択すると、現在の放送局の周波数がディスプレイ上に表示されます。情報の表示は、セットアップメニューのRADIO TEXT設定でオン/オフできます。RDS情報のオン/オフ設定は、日本では使用しません。「システム設定を変更するには」(13ページ)をご覧ください。



FM/AM ラジオの放送局を選ぶ

RADIO ボタン、**Seek/Track** ボタン、または **Tune/MP3** ボタンを押すと、ラジオの放送局が選択され、選択した放送局の周波数がディスプレイの中央に表示されます。



選局している放送局の周波数



- **Seek/Track** **◀▶** ボタンを押すと、低い周波数側で十分受信できる電波の強さを持つ放送局を自動的に探します。
- ラジオの高い周波数側をスキャンし、受信可能な隣の放送局を自動的に選局するには、**Seek/Track** **▶▶** ボタンを押します。



- 低い周波数側の放送局を手動で選局するには、**Tune/MP3** **<** ボタンを押します。
- 高い周波数側の放送局を手動で選局するには、**Tune/MP3** **>** ボタンを押します。
- 周波数をすばやく変更するには、**Tune/MP3** **<** または **Tune/MP3** **>** を長押しします。

注記: AMラジオの受信状態が良くない場合は、システム本体の向きを左右に回すと、改善されることがあります。FMラジオの受信状態が良くない場合は、電源コードがまっすぐになっているかどうかを確認してください。FMラジオの受信状態を改善するには、外部FMアンテナを接続する方法があります(12ページを参照)。

FM/AM ラジオ放送局をプリセットに登録する

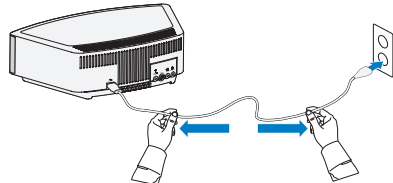
FMラジオとAMラジオの放送局をそれぞれ6つまで登録し、**Presets** ボタンですばやく呼び出すことができます。同じボタンに別の放送局を登録すると、以前登録した放送局に上書きされます。

1. プリセットに登録する放送局を選局します。
2. 6つの**PRESETS** ボタンのいずれかを、ピープ音が2回聞こえ、プリセット番号と放送局の周波数がディスプレイに表示されるまで長押しします。
3. **PRESETS** ボタンのいずれかを押すと、登録されたFM/AMラジオの放送局がすばやく選局されます。



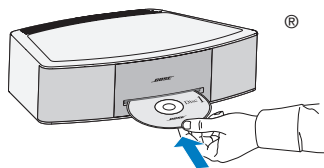
FMラジオの受信状態を向上する

FMラジオを最適な状態で受信するため、電源コードをほどこき、まっすぐに伸ばしてご使用ください。システムは、電源コードをFMアンテナとして使用します。



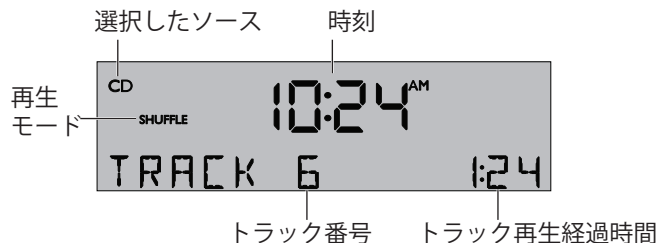
オーディオCDの再生

レーベル面を上にして、ディスプレイの下のスロットにディスクを差し込みます。ディスクがスロットに引き込まれ、再生が始まります。



ソースが選択されていない場合は、**CD** ボタンを押します。

- オーディオCDの再生中は、CDソースの情報が表示されます。



- **Play/Pause** ボタンを押すと、再生中のCDが一時停止します。一時停止中は、経過時間表示が点滅します。**Play/Pause** ボタンをもう一度押すと、再生を再開します。



- **Seek/Track** **◀▶** ボタンを押すと、再生中のトラックの先頭へスキップします。**Seek/Track** **◀▶** ボタンをもう一度押すと、前のトラックの先頭へスキップします。
- **Seek/Track** **▶▶** ボタンを押すと、次のトラックへ移動します。



- **Tune/MP3** **<** ボタンを長押しすると、再生中のトラックを巻き戻しサーチします。**Tune/MP3** **>** ボタンを長押しすると、再生中のトラックを早送りサーチします。



- **Stop/Eject** ボタンを押すとCDを停止します。**Stop/Eject** ボタンをもう一度押すとCDが取り出されます。CDの再生中に**Stop/Eject** ボタンを長押しすると、CDが停止してからディスクが取り出されます。

注記:

- 再生を停止したCDをもう一度再生すると、停止した箇所から再生が再開されます。
- 取り出したCDを10秒以内にスロットから取り除かないと、そのCDはプレーヤーに引き込まれて、もう一度読み込みが行われます。

注意: 8 cm CDや円形でないCDをプレーヤーに差し込まないでください。このようなCDは正しく再生されないだけでなく、取り出せなくなる場合があります。

他のソースの再生

MP3 CDの再生

システムは、CD-RやCD-RWに保存されたMP3ファイルも再生できます。MP3 CDの再生、一時停止、取り出しの操作は、オーディオCDと同様にリモコンを使用して行います。

リモコンの**Tune/MP3**ボタンと**Seek/Track**ボタンを使用して、ファイルを探すことができます。

TUNE / MP3

<

>

⏮

⏭

- **Tune/MP3 <**ボタンを押すと、前のフォルダーに移動します。
- **Tune/MP3 >**ボタンを押すと、次のフォルダーに移動します。
- **Seek/Track ⏮** ボタンを押すと、再生中のトラックの先頭に移動します。
- **Seek/Track ⏮** ボタンをもう一度押すと、前のトラックの先頭へスキップします。
- **Seek/Track ⏭** ボタンを押すと、次のトラックへ移動します。

MP3 CDを操作している間、フォルダー番号とトラック番号が表示されます。

選択したソース

時刻

CD

10:24^{AM}

02

TRK

6

フォルダー番号

トラック番号

注記: ルートフォルダーのフォルダー番号は00と表示されます。

トラックを再生すると、アーティスト名、曲名、再生経過時間がディスプレイに表示されます(日本語非対応)。

選択したソース

時刻

CD

10:24^{AM}

MOZART

STRI

1:24

アーティスト名と曲名

トラック再生経過時間

注記:

- CDに保存されている音楽ファイルにアーティスト名と曲名が付けられていれば、システムでそれらの情報が表示されます(日本語非対応)。
- MP3 CDの音質は、圧縮時のビットレート、サンプリングレート、使用したエンコーダーの種類によって変わります。システムは、圧縮時のビットレートが64kbps以上、またサンプリングレートが32kHz以上のMP3 CDに対応していますが、ビットレートは128kbps以上、サンプリングレートは44.1kHz以上のディスクを使用することをおすすめします。
- CD-RやCD-RWに記録された音楽ファイルの音質は、ディスクに保存したときの記録方法と使用したソフトウェアによって変わります。不適切な記録状態のCDを再生すると、システムが正常に動作しない場合があります。

CD再生モード

CDを再生中に、再生方法を変更することができます。**Play Mode**ボタンを何回か押し、次の再生モードを表示して選択します。

モード	CD ボタン	MP3	説明
NORMAL PLAY	✓	✓	すべてのトラックを順番に1回だけ再生します。
SHUFFLE DISC	✓	✓	すべてのトラックをシャッフルして1回だけ再生します。
SHUFFLE RPT	✓		すべてのトラックをシャッフルして繰り返し再生します。再生順は毎回変わります。
REPEAT DISC	✓	✓	ディスク内のすべてのトラックを順番に繰り返し再生します。
REPEAT TRACK	✓	✓	再生中のトラックを繰り返し再生します。
SHUFFLE FLDR		✓	選択したフォルダー内のすべてのトラックをシャッフルして1回だけ再生します(MP3のみ)。
SHUF RPT FDR		✓	フォルダー内のすべてのトラックをシャッフルして繰り返し再生します(MP3のみ)。再生順は毎回変わります。
SHUFF RPT CD		✓	ディスク内のすべてのトラックをシャッフルして繰り返し再生します。再生順は毎回変わります。
REPEAT FOLDR		✓	フォルダー内のすべてのトラックを順番に繰り返し再生します(MP3のみ)。

注記: CDをセットするたびに、再生モードはNORMAL PLAYに戻ります。

アラームボタンとアラーム表示

システムでは、**アラーム1**と**アラーム2**に別々のアラームを設定できます。

アラームには次の情報を設定できます。

- 時刻
- 音量
- アラーム音の種類(ブザー音、ラジオ、CD)

Alarms ボタンの使い方

アラームの設定と操作には、リモコンの一番下にあるAlarmsボタンを使用します。

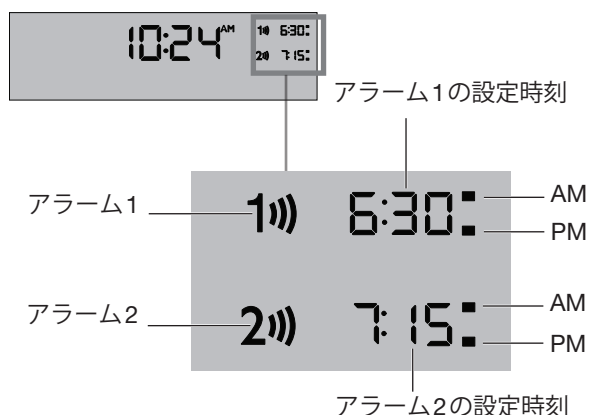
アラーム1のオン/オフを切り替えます。

1. アラーム設定モードに移行し、アラーム1の設定を表示します。
2. もう一度押すと、アラーム2の設定が表示されます。
3. もう一度押すと、アラーム設定モードが終了します。

アラーム表示

アラームがセットされている場合、ディスプレイの右上にアラームの状態が表示されます。

アラーム1とアラーム2の設定例



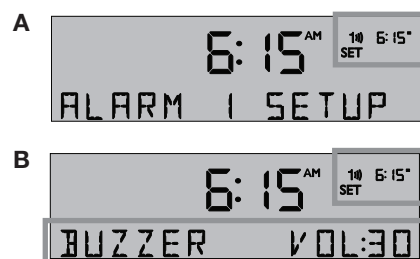
アラームを設定する

アラームの設定を変更するには、アラーム設定モードを有効にして、ディスプレイにアラームの設定を表示します。

アラーム1/2を設定するには、次の操作を行います。

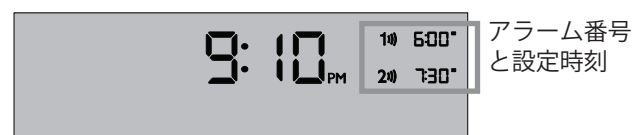
1. **Alarm Setup** ボタンを押します。

アラーム番号と時刻が点滅し(A)、しばらくすると、アラーム1の現在の設定が表示されます(B)。



2. **TIME** ボタンでアラームの時刻を設定します。
3. アラーム音を選択します。
 - ブザー音を再生する場合は **Buzzer** ボタンを押します。
 - ラジオを再生する場合は **RADIO** ボタンを押します。
 - CDを再生する場合は **CD** ボタンを押します。
4. **+** または **-** ボタンを押して、選択したアラーム音の音量を調節します。
5. **ALARM SETUP** ボタンを押すとアラーム2の設定に移行します。手順2～4を繰り返して、アラーム2を設定します。
6. もう一度 **ALARM SETUP** ボタンを押すと、アラーム設定モードが終了します。

設定したアラームがオンになり、アラームの時刻が表示されます。

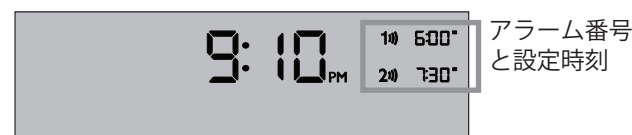


アラームを使用する

アラームのオン/オフを切り替える

ALARM 1 ボタンまたは **ALARM 2** ボタンを押すと、それぞれのアラームのオン/オフが切り替わります。

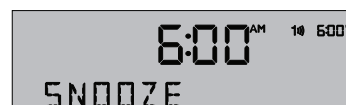
アラームがオンの場合、ディスプレイの右上にアラーム番号と時刻が表示されます。



アラームのスヌーズを使う

タッチセンサーに手を触れるか、リモコンの **SLEEP** ボタンを押します。

SNOOZE がディスプレイに表示され、あらかじめ設定した時間が経過するとアラーム音がもう一度鳴ります。



出荷時には、スヌーズ時間が10分に設定されています。スヌーズ時間を変更するには、13ページをご覧ください。

アラーム音を停止してリセットする

STOP ALARM ボタンを押します。

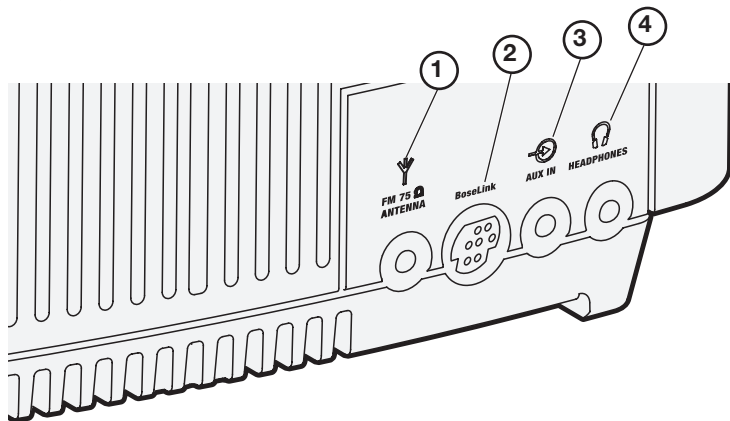
スヌーズを解除する

スヌーズが設定された状態で、もう一度タッチセンサーに触れて2秒以上手を置いたままにするか、**Stop Alarm** ボタンを押します。

外部機器の接続

システムの接続

システムのリアパネルには、外部機器を接続するための端子があります。



- ① **ANTENNAS**
3.5 mm FMアンテナ(75Ω)端子。「外部アンテナを使用する」(12ページ)をご覧ください。
- ② **Bose link**
Bose link ケーブルで別の Bose link 対応機器を接続する入力端子。
- ③ **AUX IN**
外部機器接続用 3.5 mm ステレオ音声入力端子。
- ④ **HEADPHONES**
3.5 mm ステレオヘッドホン端子。

AUX IN 端子を使用する

システムをテレビ、DVD プレーヤー、コンピューター、ゲーム機などと接続すれば、より豊かで迫力ある高音質でお楽しみいただくことができます。

外部機器をシステムに接続するには、以下のいずれかのケーブルを別途お求めください。



3.5 mm ステレオ音声ケーブル

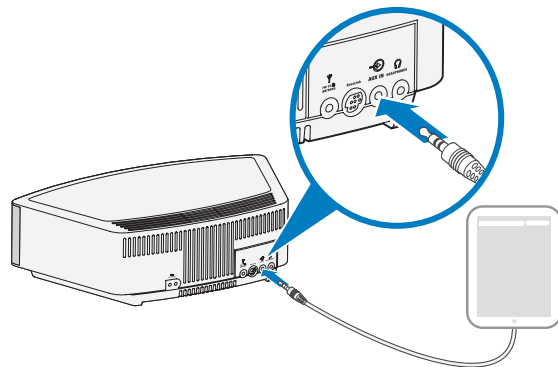


3.5 mm ステレオ - ステレオピン変換ケーブル

ケーブルに関するご不明な点は、ボーズ株式会社カスタマーサービスにお問い合わせいただくか、お近くの電気店にお尋ねください。
専用ナビダイヤル 0570-080-021

オーディオ機器をケーブルで接続する

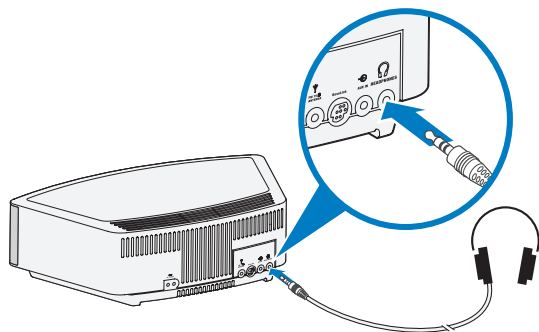
1. ステレオ音声ケーブルを使用して、オーディオ機器をシステムの **AUX IN** 端子に接続します。



2. リモコンの **電源** ボタンを押します。
最後に再生していたソースが有効になります。
3. **AUX** ボタンを押して、ディスプレイに **AUX** が表示されたら放します。
4. オーディオ機器で音楽を再生します。
5. 音量を調節するには、**音量+** ボタンまたは **音量-** ボタンを長押しします。

注記: システムの音量を最大にしても音が小さすぎる場合は、接続した外部機器の音量を上げてください。

ヘッドホンを使用する 音楽などをヘッドホンで楽しむには、システムのリアパネルにあるヘッドホン端子にヘッドホンを接続します。



注意: 大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間にわたるヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。

注記:

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーの音が自動的にミュートされます。ヘッドホンの音量は、スピーカーの音量とは異なります。思わぬ大音量での再生を避けるため、ヘッドホンを接続したり、抜いたりする前に、システムの音量を下げてください。
- ヘッドホンを接続していても、アラーム音はシステムのスピーカーから聞こえます。

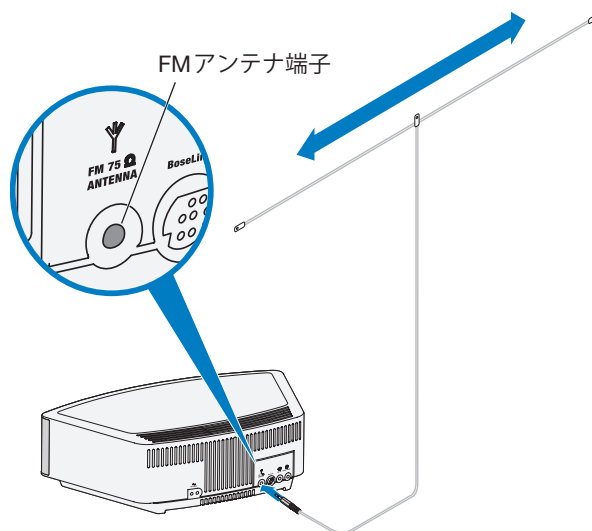
ヘッドホンの音量を調節する

◀+ ボタンまたは ▶- ボタンを押して、ヘッドホンの音量を調節します。

外部アンテナを使用する

システムは、電源コードをFMアンテナとして使用します。電源コードの位置を調整しても受信状態が改善されない場合は、外部アンテナを取り付けてください。T型外部FMアンテナのご注文については、カスタマーサービスへお問い合わせください。専用ナビダイヤル 0570-080-021

1. FMアンテナのプラグを **FM ANTENNA** 端子に接続します。
2. 良好な状態で受信するには、アンテナを本体や外部機器からできるだけ離れた位置まで伸ばし、アンテナ線の両端をぴんと張って水平にしてください。



注記: 多くのFMラジオ放送局では、水平方向だけではなく垂直方向にも電波を送信しています。アンテナ線を水平方向に張っても受信状態が良くならない場合は、垂直方向に張ってみてください。

システムの設定

セットアップメニュー

セットアップメニューから、システムの操作方法を設定できます。

システム設定	メニュー項目	工場出荷時の設定	選択可能な設定	説明
スヌーズ時間	SNOOZE-	10 MIN	10 MIN、20 MIN、30 MIN、40 MIN、50 MIN、60 MIN	スヌーズ機能が有効のときに、次にアラーム音が鳴るまでの時間を設定します。
Radio Data System (RDS) 情報	RADIO TEXT-	ON	ON、OFF	本機能は日本では使用しません。
連続再生	CONT PLAY-	NO	NO、AUX、FM、AM	CDの再生が終了した後に自動的に再生されるソースを選択します。
低音部の音量	BASS-	NORMAL	NORMAL、REDUCED	低音部の補正を行います。
時刻表示形式	TIME-	12 HOUR	12-HOUR、24-HOUR	時刻を12時間表示(AM/PM)または24時間表示に切り替えます。
室内が明るいときのディスプレイの明るさ	BRIGHT HI-	10	8 ~ 15	室内が明るいときのディスプレイの明るさを設定します。
室内が暗いときのディスプレイの明るさ	BRIGHT LO-	4	1 ~ 8	室内が暗いときのディスプレイの明るさを設定します。
ルームコード	ROOM-	B _ _ _ -	B _ _ _ -, C _ _ _ -, D _ _ _ -, E _ _ _ -, F _ _ _ -, G _ _ _ -, H _ _ _ -, I _ _ _ -, J _ _ _ -, K _ _ _ -, L _ _ _ -, M _ _ _ -, N _ _ _ -, O _ _ _ -	本機能は日本では使用しません。
タッチセンサー	TOUCH PAD-	ON	ON、OFF	タッチセンサーの有効(オン)または無効(オフ)を切り替えます。
20分スタンバイタイマー	AUTO OFF-	YES	YES、NO	20分スタンバイタイマーの有効(YES)または無効(NO)を切り替えます。「システムの電源をオン/オフする」(7ページ)をご覧ください。
システムのリセット	RESET ALL-	NO	NO、YES	システムを工場出荷時の設定に戻します。

システム設定を変更するには



1. **Alarm Setup/Menu** ボタンを、「-SETUP MENU-」が表示されるまで長押しします。

TUNE / MP3



2. **Tune/MP3** ボタンを何回か押して、変更するメニュー項目を表示します。

TIME



3. **Time +** ボタンまたは **Time -** ボタンを押して、選択項目を変更します。



4. セットアップメニューを終了するには、**Alarm Setup/Menu** ボタンを押します。10秒間ボタン操作を行わないと、セットアップメニューが自動的に終了します。

故障かな？と思ったら

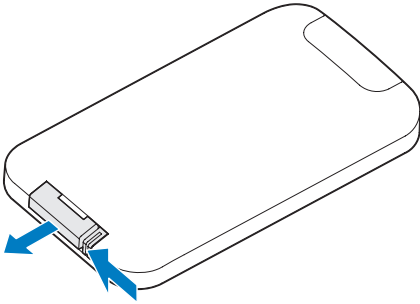
トラブル	対処方法
本体が機能しない	- システムを電源に接続します。 - 電源コードをコンセントから抜き、10秒間待ってからもう一度差し込みます。この操作により、システムがリセットされます。 - システム上部のタッチセンサーに手を触れます(7ページを参照)。
音が出ない	- 音量を上げます。 - CDを取り出してから再度ロードします。 - システムからヘッドホンを抜きます(ヘッドホンが差し込まれていると、スピーカーの音はミュートされます)。
音質が悪い	- 低音が響きすぎるか、または弱すぎる場合は、セットアップメニューで低音の音量を調整します(13ページを参照)。 - 外部機器を聴いている場合は、適切なステレオ音声ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。
リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない	- リモコンをシステムに近付けて操作します。 - リモコンの電池が正しい方向(+極が上)で装着されていることを確認します。 - リモコンの電池を交換します。 - 強い室内灯光や太陽光が本体に直射して、リモコン受信の障害になっていないか、またはリモコン先端のレンズにはこりや汚れが付いていないか確認します。 - システムを別の場所に設置して、操作をお試しく下さい。
AMラジオの受信状態が悪い	- 本体の向きを変えながら、内蔵AMアンテナの受信状態が良くなる位置を探します。 - テレビ、冷蔵庫、ハロゲンランプ、調光器付きスイッチなど、電気ノイズを発生する電気製品から本体を離してください。 - 受信状態が改善されない場合、AMラジオの電波が弱いことが考えられます。
FMラジオの受信状態が悪い	- 電源コードをできるだけまっすぐに伸ばします。電源コードはFMアンテナとして機能します(8ページを参照)。 「外部アンテナを使用する」(12ページ)をご覧ください。
CDが再生されない	- ソースが選択されていることを確認し、選択されていない場合は  CD ボタンを押します。ディスプレイにCDアイコンが表示されます。 - レーベル面を上にしてCDをロードします。 - ディスクの表面に汚れがないことを確認し、汚れている場合は表面に傷を付けないようにそっと拭き取ります。 - 別のディスクをお試しく下さい。

お手入れについて

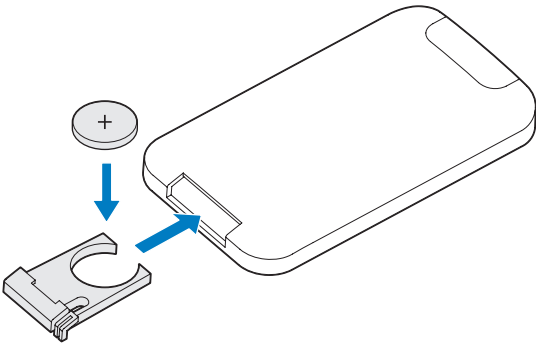
リモコンの電池を交換する

ボタン側を下にしてリモコンを平らな場所に置きます。

1. 電池カバーの留め具を図のように指で押さえます。電池カバーをスライドして開きます。



2. 使用済みの電池を取り出し、+極の表示を上に向けて新しい電池を装着します。



3. 電池カバーを静かに閉じます。自動的に留め具がかかります。



警告: 電池はお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込まないでください。化学薬品によるやけどを負う恐れがあります。この製品に付属のリモコンにはボタン電池が使用されています。ボタン電池を飲み込むと、体内で2時間以内に深刻なやけどを負って生命を脅かす恐れがあります。バッテリーカバーがきちんと閉まらない場合は、リモコンの使用をやめてお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体の中に入ってしまったと思ったら、すぐに医師の診断を受けてください。リモコンの電池を誤って取り扱ったり、誤って交換した場合、破裂や火災、化学物質で皮膚が侵される危険性があります。また、分解や充電、焼却を行ったり100°C以上の熱を与えないようにしてください。3Vリチウムボタン電池の CR2032 または DL2032 に交換してください。使用済みの電池は速やかに処分してください。

お手入れについて

システムの外装は柔らかい布でから拭きしてください。

- システムの近くでスプレーを使用しないでください。溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤を含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に液体が入らないようにしてください。

お問い合わせ先

トラブル解決のための詳細情報については、ボーズ株式会社カスタマーサービスにお問い合わせください。専用ナビダイヤル 0570-080-021

保証

製品保証の詳細は (<http://bose.co.jp/rep>) をご覧ください。

製品のご登録をお願いいたします。

登録は、<http://global.Bose.com/register> から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

本製品の保証内容は、オーストラリアおよびニュージーランドでは適用されません。オーストラリアおよびニュージーランドでの保証の詳細については、弊社Webサイト (www.bose.com.au/warranty または www.bose.co.nz/warranty) をご覧ください。

仕様

AC 電源定格

100V ~ 50/60Hz 60W (最大)



745090-0020



©2022 Bose Corporation
100 The Mountain Road
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM745090-0020 Rev. 00